

鹿角市文化の杜交流館開館十周年記念 名取裕子みちのく巡礼話芸劇場V 菅江真澄の旅と日記より〜鹿角街道篇 菅江真澄の旅・錦木塚物語



菅江真澄(すがえますみ)

三河国(愛知県豊橋市付近)に生まれる。
白井英二・秀雄。秋田で暮らしてから菅江真澄と称した。
30歳で故郷を出発し、以降、長野、新潟、山形、秋田、
青森、岩手、宮城、北海道を旅した。
48歳秋田に入り、76歳で亡くなるまで28年間秋田で暮らし
た。この間に数多くの日記や地誌・図絵などを残し、当時
の生活習慣を知る貴重な民俗資料とされている。それらは
国重要文化財や秋田県指定文化財とされている。

【話芸】名取裕子

青山学院大学在学中、TBSの朝のテレビ小説「おゆき」のヒロイン役でデビュー。1982年松本清張原作のNHKドラマ「けもの
みち」での悪女役で新境地を開く。さらに映画では「序の舞」「時代屋の女房2」「吉原炎上」「妖女の時代」をはじめ、
数々の話題作に出演。「異人たちとの夏」「マークスの山」では日本アカデミー賞優秀助演賞を受賞。1988年には蜷川幸
雄演出「タンゴ・冬の終わりに」で初舞台を踏んだ後、「七人みさき」「にぎり江」などの蜷川作品や、新橋演舞場では「女
系家族」「御宿かわせみ」「吉原炎上」「花の天勝」と4年連続で出演。華やかな容姿と確かな演技力で舞台女優として
も注目を浴びる。「法医学教室の事件ファイル」「京都地検の女」(テレビ朝日系)や「マルホの女」「特命刑事カクホの
女」(テレビ東京系)などの人気シリーズに主演し、好評を博しているほか、現在「オールナイトニッポンMUSIC10」(毎月
第1・3水曜日)のラジオパーソナリティを務めている。また、「今夜はナントレ」「Qさま!!」「林修の今しりたいでしょ!」(テ
レビ朝日系)などのクイズバラエティにも出演。先ごろ「Qさま!!」で初優勝した。
2015年より「みちのく巡礼話芸劇場」シリーズに取り組み、第1作として同年10月<松尾芭蕉=おくのほそ道>岩手県西
和賀町銀河ホール公演。2019年8月第2弾<長谷部日出雄作・津軽世去れ節>秋田県鹿角市文化の杜交流館コ
モッセ公演。第3弾2020年11月岩手県釜石市民文化ホールTETTO公演。
第4弾2021年11月<続 津軽世去れ節>秋田県鹿角市文化の杜交流館コモッセ公演。第5弾2023年10月<艶子姐さ
ん〜釜石最後の芸者物語>岩手県釜石TETTO公演。第6弾2024年<津軽世去れ節>11月秋田県大館市ほくしか
鹿鳴ホール公演。今回の公演は、新作<菅江真澄の旅・錦木塚物語>公演。「名取裕子みちのく巡礼話芸劇場シリ
ーズ」は単なる朗読ではないジャンルを超えたクロスオーバーな舞台シリーズとして注目されている。



【民謡・わらべ歌】佐野よりこ

三歳のころから習い始めた民謡は南部牛追い唄・外山節・南部木挽き唄・南部酒屋唄・南
部よしやれ・南部馬方節・沢内甚句・南部馬の里唄全国大会など岩手県内で開催される
数々の全国大会を制覇し第49代岩手県知事杯民謡王座を獲得、平成28年には第56回日
本郷土民謡民舞全国大会で優勝、内閣総理大臣を受賞した。現在は東日本大震災での
被災体験を機に故郷に民謡で元気を届ける「佐野よりこ民謡プロジェクト」を立ち上げ心の復
興事業にも力を入れている。2020年3月初の民謡集「天までとどけ」を日本コロムビアよりリ
リース。
釜石観光物産親善大使・釜石市市政功労章奨励賞受賞



【尺八・笛・胡弓・太鼓】村松幸一

尺八、横笛、三味線奏者であったが、三味線奏者は沢
山居るが、尺八奏者には若い人がほとんど居ないことに気
付き、このままではこの先尺八奏者がいなくなってしまう事
を憂い、尺八を始める。
現在は、各種大会やレコーディングの伴奏やステージな
どで、三味線と尺八奏者の2つの顔で活躍中。



【津軽三味線】三代目 井上成美

1987年生まれ、岩手県盛岡市出身・在住。6歳より故・初代
井上成美に師事し、11歳より黒澤博幸氏に津軽三味線の手
ほどきを受ける。平成18年に故・初代井上成美師より『井上成
美由』と命名される。
平成26年に三代目井上成美を襲名。古くから受け継がれてき
た民謡の三味線伴奏者としての活動を中心に、ソロ活動や他
楽器とのコラボレーション演奏など、幅広いジャンルで県内外
を問わず活動している。



【音楽制作・監修・演奏】日景健貴

ポップスを基軸としつつ、インストゥルメンタル、ボーカロイド
作品、アカペラによる多重録音など、幅広いジャンルの楽
曲を制作。
ドキュメンタリー映画「木樵」では「久遠」「日月」の2曲を
書き下ろし提供。またドキュメンタリー映画「グリーンフェアの
時代に」ではエンディング曲を担当し、上映および舞台挨拶
の後、第三作目となるアルバムを皇室へ献上した。



【語り】高橋烈雄

盛岡市出身、劇団亜季代表。代表作は「天守物語」「火の鳥・ヤマト
編」「どんぐりと山猫」創作戯曲「雪女」「織鶴の里」など。YouTube
チャンネルで、オンライン公演「舞台 読み語り 宮沢賢治の世界」を配信
中。



【箏】若松美枝子

大館市在住、箏奏者。1979年10周年記念演奏会、1993年から箏コン
サートⅠ～Ⅳを開催、小学校での体験教室や、介護施設など地域で演
奏活動をしている。



【鹿角おやまこ】湯沢政幸、湯沢幸輔

幼少より民謡を習い始め、鹿角市出身の民謡
歌手「佐藤祐幸」に師事、尺八を「菅原五郎」
に弟子入りし、市内外の民謡大会へ出場、多
数の好成績をおさめている。
イベントやメディア出演も多く、「クボタ民謡お国
めぐり」等へもユザワ3兄弟として出演している。
地元鹿角民謡を中心に主に東北3県の民謡を
勉強している。

【影絵】島山卓蔵

鹿角市在住、切り絵歴20年以上となり、現在は定期的に教室を
開催し、コモッセギャラリーを始め各市民センターでの展示、シルバー仲間との切り絵作品
展も開催。切り絵の魅力はナイフ1本で、年齢に関係なく皆さんに喜んで頂ける。
この公演が、この先の生きる糧となると信じて。

【写真】成田いつか

東京都出身。写真、グラフィックデザイン。工房天羽で染色、
自然のモノづくりに取り組む。映画広告デザイン、写真集「ちゃんと食べてる?」写真・装丁
(広島本大賞受賞)など他多数。鹿角では、花輪図書館、十和田市民センターでの写真
展、コモッセでの作品展など開催している。

企画:小田島弘枝(遠巣谷の森文化交流センター) 脚本:瀬川君雄 脚色・総合演出:名取裕子 構成・演出:せがわきみお
切り絵:島山卓蔵 写真:成田いつか 舞台監督:佐藤英也 舞監助手:千葉正矩 照明:佐藤勝巳 音響:細川健美 映像・写真操作:菊池伸也
総合プロデューサー:小田島弘枝(遠巣谷の森文化交流センター) 制作プロデューサー:千田 敬(鹿角市文化の杜交流館コモッセ)
制作コーディネーター:中村仁彦(釜石市民ホールTETTO)
制作:鹿角市文化の杜交流館コモッセ・遠巣谷の森文化交流センター
図絵提供:秋田県立博物館菅江真澄資料センター・大館市立栗盛記念図書館 協力:鹿角市立図書館・鹿角市錦木塚展示室・菅江真澄研究会